

学校関係者評価報告書
(平成25年度)

平成25年12月20日

学校法人新潟総合学院
伝統文化と環境福祉の専門学校

1. 学校関係者評価について

伝統文化と環境福祉の専門学校の「学校自己評価報告書（平成24年度）」について、学校関係者評価委員に評価していただいた。

評価については、事前に「学校自己評価報告書（平成24年度）」等、学校運営に関わる資料を配布し、自己評価の説明後、各委員より意見等を聴取した。聴取した意見は、本校所属の委員で検討を行った。また、検討結果と学校運営等への反映について、委員へ周知した。

2. 学校関係者評価委員

氏 名	所 属 ・ 職 名
羽生 靖	佐渡市産業振興課 課長
金子 正純	医療法人愛広会相川愛広苑 事務長
伊澤 宏二	社会福祉法人愛宕福祉会新穂愛宕の園 施設長
本間 慎	伝統文化と環境福祉の専門学校 学校長
渡辺 秀則	伝統文化と環境福祉の専門学校 副校長
渡辺 一朋	伝統文化と環境福祉の専門学校 事務局長
橋本 瑞江	伝統文化と環境福祉の専門学校 介護福祉学科長
後藤 唯	伝統文化と環境福祉の専門学校 就職相談室長

3. 委員会開催日等

開催日：平成25年12月19日（木）

開催時間：9：00～13：30

場所：委員の所属施設・団体 伝統文化と環境福祉の専門学校 2階 会議室

4. 学校関係者評価

学校関係者評価については、当校が4つの異なる分野の学科を有する総合的な専門学校であるため、①当校の学校運営が介護福祉学科の養成に合致しているか、②介護福祉学科は当校の教育方針に合致しているか、③当校の学校運営や学生は職業人教育に即しているか、④その他校運営全体についての4点に項目を設けて各委員から意見等を聴取した。

各委員からの意見等

①当校の学校運営が介護福祉学科の養成に合致しているか

羽生委員：合致している

金子委員：合致している

伊澤委員：職業人として、即戦力として各職業人と意見交換を行い授業内容にいかしているということですが、それをより充実させていってほしいと思います。

②介護福祉学科は当校の教育方針に合致しているか

羽生委員：合致している

金子委員：合致している

伊澤委員：介護を目指す人として大切なこと。人を大切にする気持ちを育てることが大切であると考えます。貴校の教育方針は素晴らしいものであります。それを先生と生徒が真剣に受け止め実践していくことであると考えます。具体的には、家庭を守る主婦の話、会社経営をしている社長の話など。人と関わる介護の仕事を目指す人として何が大切なのかを教えてもらうことが重要と考えます。

③当校の学校運営や学生は職業人教育に即しているか

羽生委員：合致している

金子委員：即している

伊澤委員：職業人教育は学校での授業はもちろんですが、施設実習で学ぶことも多いと考えます。

より充実した実りのある職業人教育を実施するためには、この実習を成功させる必要があると考えます。

施設実習前に行う学校でのオリエンテーション。実習に行く心構え、実習目標の明確化などを徹底してから実習に行かせることが重要であると考えます。

実習施設で実習に対しての心構え、実習目標などの確認。

実習中での様子の確認（目標達成に向けて取り組んでいるか？など）

施設で実習終了後の反省。気づいたことがあれば学校へ連絡。

学校で実習終了後の反省。気づいたことがあれば施設へ連絡。

以上、このサイクルを実践していくことが重要と考えます。

④その他

羽生委員：介護福祉学科では、島内出身の学生が比較的多いと伺っております。

佐渡の自然や文化、環境などを取り入れた取り組みを望みます。

金子委員：学生が佐渡に残り、佐渡の学校に進学し、佐渡で就職するのは良いことであるが、広い視野を持った社会人に成長する為にも NSG グループの他の学校（WM 等）にグループ内短期留学させたり、又は、百貨店等の異業種に体験勤務する等の仕組みがあると良いのではないかと。

意見集約

- ・介護福祉に関わる専門的知識、技術の習得とともに、教育目標にある「広い視野」と「豊かな人間性」を備えもった人材育成の場として学校運営が必要である。
- ・専門分野にとらわれず、社会人、職業人としての基礎的な人材育成が必要である。
- ・人間性や職業人、社会人教育のため異業種交流や佐渡ならではの要素を取り入れた教育が必要である。

5. 学校運営等への反映について

委員より頂いた内容を精査し、特に異業種交流や佐渡ならではの教育について、次年度の学校運営に反映する。

また、職業人や人間性の教育については、関連企業、施設と密な連携を図り、専門分野の知識、技術に偏らない人材育成を目指すとともに、教育目標の達成を目指す。

以上